

遊びにきて
モ〜リ〜!

野生生物の調査研究など
をしているよ。
自然や生きもののことを
詳しく知ることができるよ!

しせつ

しょうかい

施設の紹介

あまみやせいせいふつほこ 奄美野生生物保護センター

〒894-3104 鹿児島県大島郡大和村勝勝字腰ノ畑551
【TEL】 0997-55-8620
【開館時間】 9:30~16:30
【休館日】 月曜日および年末年始
【入館料】 無料
【HP】 <http://amami-wcc.net/>



あまみくんと
奄美群島の鳥々の自然と、そこに暮らす生きものについて、はく製や標本を展示
して詳しく紹介。図鑑などが揃ったライブラリーもあります。

やせいせいせいふつほこ やんばる野生生物保護センター

「ウフギー自然館」
〒905-1413 沖縄県国頭郡国頭村比地263番地の1
【TEL】 0980-50-1025
【開館時間】 10:00~16:30
【休館日】 月曜日、祝祭日(みどりの日、こどもの日をのぞく)、
慰霊の日、および年末年始
【入館料】 無料
【HP】 <http://www.ufugi-yambaru.com/>



やんばるってどんなところ? どんな生きものがいるの? 音や映像を使った展示で
楽しく学び、体験することができます。

いりおもてやせいせいふつほこ 西表野生生物保護センター

〒907-1432 沖縄県八重山郡竹富町字古見(番地なし)
【TEL】 0980-85-5581
【開館時間】 10:00~16:00(土日の12:00-13:00は一時閉館)
【休館日】 月曜日、祝祭日(みどりの日、こどもの日をのぞく)、
慰霊の日、および年末年始
【入館料】 無料
【HP】 <http://iwcc.a.la9.jp>



ぜつめつ
絶滅のおそれのある西表島の野生生物の保護や調査を行っています。館内には
イリオモテヤマネコの生態を知るためのパネルやはく製を展示しています。

あ ねっ たい 亜熱帯の島々・ 輝くいのちの森

あまみおおしま とくのしま おきなわじまほくぶ およ いりおもてじま
奄美大島・徳之島・沖縄島北部及び西表島

せかいせいぜんいさんこうほち
世界自然遺産候補地



しょう サンゴ礁の海に囲まれた島々、 生きものたちの楽園。

あまみおおしま とくのしま おきなわしまほくぶ いりおもてしま
奄美大島、徳之島、沖縄島北部、西表島は、

日本の南西部にある琉球列島に位置しています。

りゅうきゅうれいとう くるしお
琉球列島の周りには暖かい黒潮が流れているため、
おんだん あねったいせいきこう えいきよう
温暖な亜熱帯性気候であり、季節風や台風の影響で

雨がたくさん降るため、一年中緑の葉っぱが生い茂る

「しょうようじゆりん」の豊かな森が育まれています。

森には、世界中でここだけにしかない生きもの「ごゆうしゆ」が

たくさん暮らしています。

こゆう きしよう く
固有で希少な生きものが暮らすようになったのはなぜでしょうか。

そのかぎ にぎ りゅうきゅうれいとう たんじよう
その鍵を握る、琉球列島誕生の歴史と

生きものたちの進化の過程をみていきましょう。



いりおもてしま
西表島
IRIOMOTE
ISLAND

たいわん
台湾
TAIWAN

くるしお
黒潮



あまみおおしま
奄美大島
AMAMI-OSHIMA
ISLAND



とくのしま
徳之島
TOKUNOSHIMA
ISLAND



おきなわしまほくぶ
沖縄島北部
THE NORTHERN
PART OF OKINAWA
ISLAND

あまのこ
夏風

ふゆのこ
冬風

りゅうぎゅうれつとう たんじょう

～琉球列島の誕生と生物の進化～ { EARTH HISTORY.1 }

ちゅうぎちゅうしんせいぜん
中期中新世以前

今から約1,200万年前

太古の時代、
りゅうぎゅうれつとう
琉球列島は大陸の一部だった。



(ユーラシア大陸)

りゅうぎゅうれつとう
むかしは、琉球列島は
ユーラシア大陸の
一部だったモ～リ～。

陸続きだった時代には、
大陸と同じ生きものたちが
暮らしていて、自由に
行き来していたんだね。



もえちゃん (環境省の新人レンジャー)
モーリー (亜熱帯の森の妖精)

ごうきちゅうしんせい ごうしんせいしよき
後期中新世～更新世初期

前半

約1,200万年前～約200万年前

ちかくへんどう
大規模な地殻変動が起きて、
プレートがしずこ
沈み込み始めた。



地球の表面を覆っている
かたい板状の層のことだね。
大陸プレートと海洋プレート
があるよ。



およそ1,200万年前から200万年前の間に、大規模な地殻変動が起きました。琉球海溝を挟んで南東側にフィリピン海プレート、北西側にユーラシアプレートがあるのですが、フィリピン海プレートが、ユーラシアプレートに衝突し、下に沈み込み始めたのです。それにともない、「沖縄トラフ」と呼ばれる海域がつくられていきました。



1200万年前 200万年前 現在

りゅうきゅうれつとう たんじょう
 ~琉球列島の誕生と生物の進化~
 EARTH HISTORY.2

後半
 後期中新世～更新世初期
 約1,200万年前～約200万年前

大陸から分離、琉球列島が生まれた。

プレートの沈み込みによって形成された

沖縄トラフがだんだん広がり、
 琉球列島はついに大陸と切り離されました。

さらに、トカラ海峡、慶良間海峡、与那国海峡ができ、
 中琉球と南琉球に分かれました。

大陸と海で隔てられたため、生きものたちは
 行き来ができなくなりました。



島に取り残された生き物たちが
 いたんだ。
 そういう生き物を「遺存固有種」と
 いうんだモ～リ。

島と大陸が切り離されると
 どうなるの？



1200万年前 200万年前 現在

いぞんこゆうしゅ
 遺存固有種とは？

古い時代に大陸と離された生きものの中には、大陸にいた同じ種や近い関係の種が絶滅してしまい、中琉球の島にだけ今も生息している生きものがあります。こうした種を「遺存固有種」といいます。

アマミノクロウサギ



奄美大島と徳之島にだけ暮らしているアマミノクロウサギは、原始的なウサギだといわれています。耳や後ろ足が短く、すんぐりとしていて、ジャンプが苦手。ほかのウサギのようにぴょんぴょん飛び跳ねたりしません。アマミノクロウサギの子育ては変わっていて、自分の巣穴とは別の場所に子ども用の巣穴をつくり、授乳の時だけ子どもの巣穴に行き、授乳が終わると巣穴の入り口は土でふさいでしまいます。これは、ハブなどの天敵から子どもを守るための、母ウサギの優しい知恵なのです。

他にもこんな
 遺存固有種がいるよ！

ケナガネズミ



奄美大島、徳之島、沖縄島北部に生息する日本最大のネズミ。主に木の上で生活していて木の葉や昆虫を食べます。毛が長く、太くて長い尻尾の先半分が白いのが特徴。

ヤンバルテナガコガネ



沖縄島北部にだけ生息する日本最大の甲虫類。体長は5～6cmで、体よりも長い前足はオスだと9cmにもおよびます。1984年に新種として発見されました。

※これらの種は絶滅のおそれのある希少な生き物なので、とってはけません。
 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」により捕獲などが規制されており、違反した場合には罰則が科せられます。

りゅうきゅうれつとう たんじょう
 ~琉球列島の誕生と生物の進化~

EARTH HISTORY.3

こうしんせいしよき げんざい
 更新世初期～現在
 約200万年前以降

なかりゅうきゅう
 中琉球の島々で、
 独自に進化した生きものたち。

ちかくへんどう
 200万年前以降になると地殻変動によって、
 なかりゅうきゅう
 中琉球は一つの大きな島から
 現在の島々へと分断されていきました。
 かてい
 その過程で、生きものたちも島ごとに分かれ、
 しんこゆうしゅ
 新固有種と呼ばれる種が生まれました。



しんこゆうしゅ
 新固有種ってなに？
 いぞんこゆうしゅ
 遺存固有種とは
 どうちがうの？



しんこゆうしゅ いぞんこゆうしゅ
 新固有種は、遺存固有種とは
 ちが
 違って、もともと同じ種だったけど、
 かてい
 進化の過程で島ごとに別々の種に
 なった生きものごころを
 いうんだモ〜。

1200
 万年前

200
 万年前

現在

しんこゆうしゅ
 新固有種とは？

しゅ
 ももとは同じ種の生きものだったけれど、ちかくへんどう
 地殻変動によって島が切り離され
 ると、それぞれの島で、別々の種に進化する生きものができました。この
 ようにして、独自に進化を遂げた生きものごころを新固有種といいます。

～トゲネズミ3種の進化～

なかりゅうきゅう
 中琉球が小さな島々へと分断されていく過程で、トゲネズミ属は奄美大島、徳之島、沖縄島北部に
 分かれ、3つの島でそれぞれ異なる種へと進化しました。「アマミトゲネズミ」、「トクノシマ
 トゲネズミ」、「オキナワトゲネズミ」は全身が先のとがったトゲのような毛でおおわれていて、
 一見姿は似ていますが、遺伝子などを研究した結果、異なる種だと判明しました。また、トゲネズミ
 属は地球上にこの3種しか存在しない貴重な動物なのです。



アマミトゲネズミ

あまみおしま
 奄美大島だけに生息。他の2種よ
 り体が小さい。



トクノシマトゲネズミ

とくのしま
 徳之島だけに生息。他の2種よ
 り体大きい。

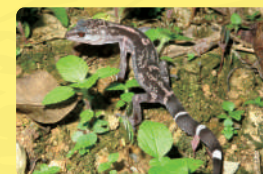


オキナワトゲネズミ

おきなわしまほくぶ
 沖縄島北部だけに生息。他の2種
 より赤色味が強い。

～トカゲモドキの種分化～

おきなわしまほくぶ
 他にも、沖縄島北部に生息する「クロイワトカゲモドキ」と、徳之島に生息する「オビトカゲモドキ」
 などがいます。小さな恐竜のような姿がカッコいいトカゲモドキは、ヤモリの仲間だけどもふたが
 ある、足の裏に吸着性がなく、木や壁にはりつくことが苦手など、トカゲに近い特徴を持っています。



クロイワトカゲモドキ



オビトカゲモドキ

※これらの種は絶滅のおそれのある希少な生き物なので、とってはいけません。
 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」により捕獲などが規制されており、違反した場合には罰則が科せられます。

こうしんせいしよき げんざい
更新世初期～現在
約200万年前以降

なかりゆうきゆう ぶんり
南琉球が分離、
しんごゆうしゆ たんじよう
新固有が誕生。

ひようき
同じく 200万年前以降の時代に、氷期・
かんびようき おとず ひようき
間氷期が何度も訪れました。氷期には海
かんびようき じようしよう
面が低下、間氷期には海面が上昇。その
えいぎよう はな
影響で、近くの島々はくつついたり、離れ
たりを繰り返しました。大陸に近い南琉球
ひようがじだい みなみりゆうきゆう
は、氷河時代を過ぎて大陸から完全に
ぶんり
分離しました。

ひようき
氷期

いどう 移動

大陸 南琉球

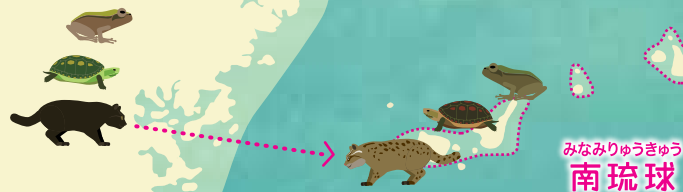
ひようがじだい
氷河時代のうち、特に寒冷な時期で海面が
かんれい
低下。その際、大陸から南琉球にヤマネコが
みなみりゆうきゆう
渡ってきたと考えられています。

かんびようき
間氷期

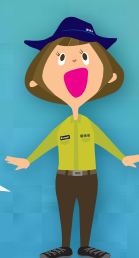
イリオモテヤマネコ
に分化

大陸 南琉球

ひようき ひようき ひかくてきぎこう おんだん
氷期と氷期の間で、比較的気候が温暖な時期。
海面が上昇し、島と大陸は海で隔てられま
した。島に残されたヤマネコが、イリオモテ
ヤマネコに分化したと考えられています。



なかりゆうきゆう はな
中琉球が大陸から離れた後も、
みなみりゆうきゆう
南琉球は大陸とくつついたり、
はな
離れたりしていたんだね



みなみりゆうきゆう
南琉球の生きものたちは
どうなったのかな？

みなみりゆうきゆう しんごゆうしゆ
南琉球の新固有種

いりおもてしま みなみりゆうきゆう いぞんごゆうしゆ
西表島を含む南琉球には、古い時代の生き残りである「遺存固有種」は見
られず、大陸との間で種が分かれた「新固有種」が多く見られます。この
ことからも、南琉球が中琉球より新しい時代に大陸から分離したことがわ
かります。



イリオモテヤマネコ
1965年に発見された西表島
だけにすむヤマネコ。祖先は
大陸由来のヤマネコで、西表島
で独自の生態になりました。



ヤヤマセマルハコガメ
森林や川の近くにすんでい
ます。甲羅が高く、ドーム状に
まるく盛り上がっています。



コガタハナサキガエル
ハナサキガエルの仲間では最
も体が小さく、足が短いです。
台湾に近い種のスインホーガ
エルがいます。

いりおもてしまどくじ せいいたいけい
西表島独自の生態系



いりおもてしま
狭い島で生き残ったヒミツ

いりおもてしま せいそく きょくたん
西表島はヤマネコが生息する島としては極端に小さい
島です。さらに、ネコ科の動物のエサになるネズミやウ
サギなども島には生息していませんでした。(クマネズミ
は人の活動によって持ち込まれた外来種です)。
ではなぜ、イリオモテヤマネコがエサの限られた
小さな島で現在まで生き残ることができたのでしょ
うか？それは他のネコ科動物では考えられないほど、エサ
の幅を広げたからです。鳥類や爬虫類を食べ、ネコなの
に水を嫌がらず川を泳ぎ、ヌマガエルなどの両生類、
エビやカニといった甲殻類まで、何でもエサにして、山
から河川へと生きるエリアを広げてきました。まさに、
いりおもてしま せいいたいけい てきあう
西表島の生態系に適応し、生き抜いてきたのです。

せいぶつたようせい
生物多様性が豊かな
“ホットスポット”と
言われているんだモ〜リ〜!



4島の森に 輝くいのち

かがや



奄美大島



アカヒゲ



アマミトゲ
ネズミ



アマミイシカワ
ガエル



アマミスミレ



アマミヤマシギ



コケタンボポ



アマミハナサキ
ガエル



ハブ



ルリカケス

沖縄島北部



クワイトカゲ
モドキ



オキナフ
セッコク



リュウキュウ
ハグロトンボ



ヤンバルテナガ
コガネ



ヤンバルクイナ



ノグチゲラ



オキナフツゲ
ネズミ



ハナサキガエル



リュウキュウ
ヤマガメ



オキナフイシカワ
ガエル

日本の面積の1%にも満たない小さな島々には、琉球列島の誕生と生物の進化によって生まれた、多くの絶滅危惧種や固有種が今も生きています。希少な動物や植物をはじめ、さまざまな種の生きものたちが関わりあって命を育んでいる「生物多様性」に富んだ森なのです。

徳之島



トクシマ
ツゲネズミ



オキナフ
ウラツログン



オビトカゲ
モドキ



トクシマ
カンアオイ



オホバカンアオイ



アマミ/クロウサギ



ケナガネズミ

西表島



セマルハコガメ



エクボ
カンアオイ



サキツマ
スオウキ



サキシマハブ



カンムリワシ



コガタハナサキ
ガエル



イリオモテヤマネコ



サガリハナ

日本全国で確認されている絶滅危惧種のうち4島に見られる種の数と割合

いかんそくしよくぶつ
維管束植物
56%
24種

りくせいほにゆうるい
陸生哺乳類
42%
10種

りようせいいるい
両生類
60%
12種

こんちゆうるい
昆虫類
53%
19種

「IUCNレッドリスト掲載絶滅危惧種」

亜熱帯の豊かな森

多くの生命を育む照葉樹林について

しつじゆん あねつたい
湿潤な亜熱帯に成立したイタジの森は、
3月から落葉と芽吹きが始まり、強い香
りがする花を咲かせ、多くの昆虫や鳥を
よびこみます。

大木の木は、ノグチゲラ
が巣穴をつくり、やがて、
それが樹洞となり、リュ
ウキュウコノハズク、ヤン
バルテナガコガネ、ケナ
ガネズミなどの巣穴に
なっています。

10月からは、イタジをはじめとした
木々のドングリが地上におち、トゲネズ
ミやリュウキュウイノシシやアマミノ
クロウサギなど森にすむ生きものたち
の重要な食料になります。

霧のたちこめた高い山頂付近で
は、地上から木の幹・枝まで緑
に覆われ、着生ランやシダが育
ちます。

森では豊かな雨水が貯えられ、動
植物たちの生命の水となります。
沢や溪流などの水辺は、さまざま
な種類のカエルなどの両生類、サワ
ガニ、トンボ類が繁殖します。

せかいしぜんいさんこうほち せいたいけい
世界自然遺産候補地の生態系を守っていくために

わたしたちができること

ゆっくりドライブ!

まじょう
希少な動物たちの交通事故“ロードキル”
が多発しています。自然や人にも優しい
運転で、ゆっくりドライブを心がけよう。



とらない! 持ち帰らない!

まじょう
希少な動物や植物を手にとったり、持ち
帰ったりするのはやめましょう。法律違
反として罰せられる場合があります。



がいらいしゆ 外来種やペットをはなさない!!

がいらいしゆ
外来種やペットの持ち込みによって、昔か
らこの地で生きてきた希少な動植物の生
命が脅かされています。森の中で、がいらい
の植物やネコ・イヌを放したりするのは
やめよう。



とざんどう 森では登山道を歩こう!

森は生きものたちの生活の場所。ハブの
危険もあります。森に入る際は、歩道や決
められたルート以外は歩かず、利用のル
ールを守りましょう。ガイドについてもら
うと、より楽しく森の生きものを観察で
きるよ。

